

昭和47年度 健康優良児決まる

市代表に
本望君と小林さん

市内の各小学校6年生から選ばれた男女各10名の健康優良児の表彰式と、市代表を決める審査会が去る6月17日第一小学校で行なわれました。

表彰を受けた各校の健康優良児は、次のみなさんがたですが、審査会の結果今年度の市代表には、一小の本望昭彦君(南町)、金津小の小林優子さん(中村)がそれぞれ選ばれました。
★第一小…本望昭彦君、間佐和子さん
★第二小…川崎成康君、高橋ひろ子さん
★満日小…皆川直久君、帆刈千加子さん
★結小…波多野一浩君、川又美佐恵さん
★市之瀬…松本英雄君、湯田圭子さん
★小合東小…吉田修君、沢田淳子さん
★小合小…丸山岳人君、長沢弘子さん
★金津小…伊藤邦彦君、小林優子さん
★阿賀小…石川富則君、羽田朋子さん
★新関小…高橋一博君、村田俊子さん



生徒に「変身」

市内の目抜き通りは、最近アーケードの建設や店舗の改装などですてきなショッピング街として一新しましたが、さらに近代化を進め、その経営にも役立てようと、さる6月9日商工会議所では商店近代化研修講座(商店大学)が開講しました。
ふだん、店員教育では先生の経営者も、この日ばかりは同じ机で学ぶ生徒さん。商店大学の先生の講義に真剣そのもの、熱心にノートをとっていました。



「研究心」を披露

さわやかな初夏の陽ざしの中「…伝説めぐり」は、大ぜいの参加者を集めて6月11日に行なわれました。その日程の一つ、ほぼ小合地区だけにその原型を残すといわれる「水倉」見学のため、子成場の玄証寺を訪問。見学を前に、住職サンのユーモアを凝じえた親切な説明を受けて、参加者もすっかりリラックスモード。質問にも「仏さま」にまつわる「日常仏法」…?まよポンポン飛び出し、日程時間もいささかオーバー、参加者ならではの「研究心」を披露していました。



ボリュームある肉料理専門店

箱岩

新津市本町3 TEL(2)4516

冷水器付

2ドア 日本電器

2ドア日本で初登場

電気代がおとくです、2台目にどうぞ!!

東芝ストア

(株)八重電商事
本町2 TEL 2-3131



GR-1802TS
標準価格
82,000円

胃腸・皮膚・肛門(ぢ)
泌尿器・レントゲン・外科

山田外科 医院

新町2丁目 TEL(2)0432

災害時に備えよう

川の増水などに注意して

今年もまた、いやな災害時期を迎えます。つゆ時から夏、秋にかけては、例年豪雨による水害、土砂などが懸念されながらも、全国的に多くの被害をもたらしております。

気象台の長期予報でも7月は梅雨前線の活動が活発になり、大雨が降りやすく、盛夏期には、一時寒気が入って局地的に大雨の降る恐れがあると発表しています。

市では、すでに本年度の水防計画も決め、関係機関とで防災体制の強化を申し合わせるなどして災害時に備えています。

市民のみなさんも、平素から川の増水やはらんなどには十分注意をはらい、ラジオやテレビの気象情報をよく聞いて、被害防止のための万全な方策をたてておきましょう。

市長杯争奪

町内対抗野球

申込みは22日まで

年々盛会となる恒例の「市長杯争奪町内対抗野球大会」が、十五回目を数えて今年も次のとおり開かれます。
参加を希望するチームの代表者は、所定の申し込み用紙

兼選手登録用紙(一通提出)に選手名などを記入して、七月二十二日(月)の正午まで、申し込み金二千円を添え、教育委員会社会教育課まで申し込みください。
◇期日：八月六日(日)、十四日(月)、十五日(火)
◇会場：市営野球場ほか
なお、申し込み締め切り日時などは厳守されますので、期限に遅れないようご注意ください。

「公共施設とめぐり」

記録まとめた
八ミリを上映

ぜひご観覧を

六月十一日に多数の参加を得て「公共施設と旧跡、伝説めぐり」を実施しましたが、その記録をまとめた八ミリ映画がこのほど出来上がり、次のとおり試写会を行います。参加されたかたはもちろんだが当日参加できなかったかたもぜひご観覧ください。
◇期日：七月十一日(火)午後七時から
◇場所：市立記念図書館
◇当日は「良寛をたずねて」と「日本の祭り」などの十六ミリ映画を同時に上映する予定です。なお、市之瀬小学校での記念写真も用意してありますので、参加されたかたは忘れずにお出かけください。

古今柳漫歩



江戸川柳で、女房と亭主の関係をどのように見ていたであろうか。これを現代の風潮と対照して考えてみるのも一興であろう。

江戸っ子は、女房孝行の姿を傍目では見苦しいものと観察していた。

●女房に 何もさせぬたわけもの (一五)

●女房を 大切にする見苦しさ (四)

●惜しいかな 息子女房にこびりつき (二四)

●女房の番を (二四)

●女房の番を (二四)

●女房の番を (二四)

●女房の番を (二四)

女房孝行

阿達義雄

男行く (二二)
亭主に弱みのある場合、女房に胸ぐらを取られるなどは、先ず仕方がないと諦めていたようであるが、夫婦喧嘩をして亭主が躍起となり、反対に女房に胸ぐらを取るなどということは沙汰の限りとされていた。

義だのフェミニズムだのは想像もされないことで、亭主関白の暴力が小気味よいものとされ、理屈などばかり言っていて、亭主に桶ついでくる女房には、対等のつもりで胸ぐらを取るようなことをせず、須らく殴れという口吻の句が詠ま

●女房に ひげをぬきぬき叱られる (三)
●愚みに 女房の意見聞いている (二)
●右の態度などが好ましいものとされていたようである。特に最後の句は、私の学生時代に美学の教授がお宅で奥様もおられる席で頻りに推奨されていたから、これこそは美学の観照的態度なのである。

(新潟大学名誉教授)